



2007 / 3月期 中間決算の概要



ーセグメント別売上高ー

単位:億円

セグメント	部門	07/3月期 計 画	07/3月期 中 間	06/3月期 中 間	対 前中間期 増 減
食品事業		348	348	336	+12
	家庭用食品	113	103	106	△2
	業務用食品	58	59	56	+3
	加工食品用原料	93	97	90	+6
	食品用改良剤	84	87	82	+4
化成品事業		29	30	28	+1
ビタミン・その他事業		31	30	31	△0
合 計		410	409	395	+13

セグメント別 増減内訳<1>

〔食品事業〕

前中間期比 12億円増

〔家庭用食品〕 2.0億円減

・ドレッシング類 $\Delta 3.9$ 億円

(前期は、「胡麻」がヒット)

・素材力(無添加だし) +0.6億円

・生食めかぶ $\Delta 1.1$ 億円

・ふえるわかめ +0.8億円

・新商品「ノンオイル」の定着化が遅れる。

〔業務用食品〕 3.0億円増

・わかめ +2.1億円

〔加工食品用原料〕 6.6億円増

・青島水産加工品 +7.1億円

〔食品用改良剤〕 4.8億円増

・国内売上 +2.6億円

・海外売上 +2.2億円

セグメント別 増減内訳<2>

〔化成品事業〕

前中間期比 1.9億円増

〔国内〕

- ・**農業フィルム用防曇剤は落込むも、**
OA機器・電子部品関係添加剤が
順調に推移。

〔海外〕

- ・**プラスチック加工メーカー向け添加剤**
中心に、欧州での市場開拓が進展。

〔ビタミン・その他事業〕

前中間期比 0.6億円減

〔ビタミン国内〕

- ・**「食品用」「医薬用」共に、**
前中間期比減
→健食業界の市場環境の影響。

〔ビタミン海外〕

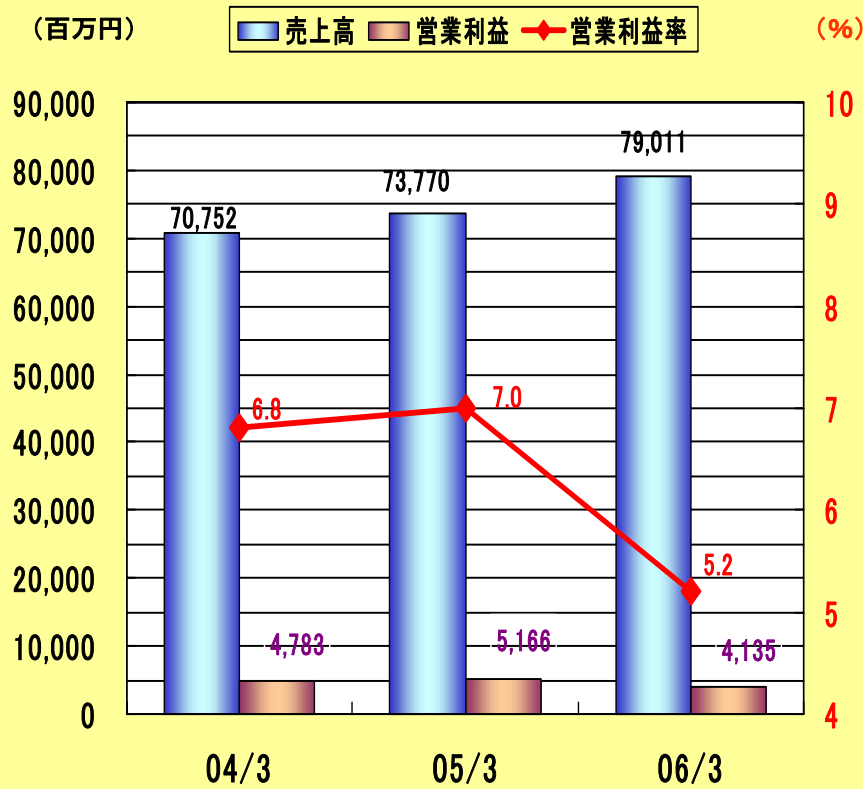
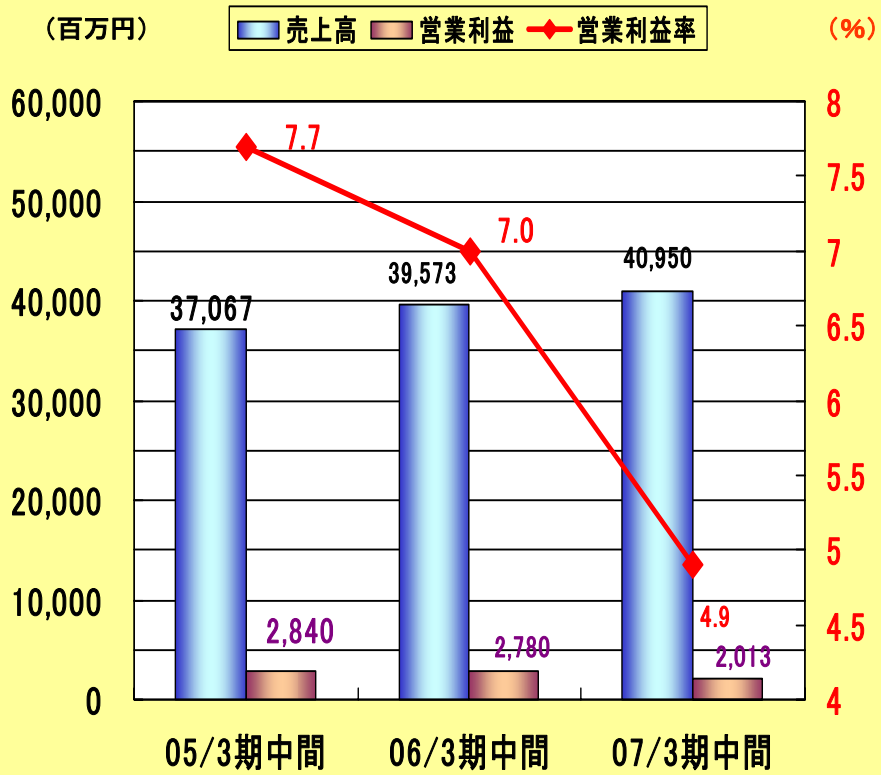
- ・**米国 健康食品メーカー向けが**
復調。

07/3月期 中間決算実績 (連結)

単位: 億円

	07/3月期 中 間	06/3月期 中 間	増 減
売 上 高	409	395	+13
粗 利 益	129	131	△1
販 売 管 理 費	109	103	+6
営 業 利 益	20	27	△7
経 常 利 益	19	27	△7
純 利 益	14	18	△3

売上高、営業利益、営業利益率の推移(連結)



〔売上原価〕 15.3億円増

〔原材料費〕 9.1億円増

・原油高 → 素材価格に影響

〔外注経費〕 0.4億円増

〔労務費〕 0.4億円増

〔工場経費〕 5.2億円増

・減価償却費 → 3.2億円増

〔販売管理費〕 6.1億円増

- ・販売促進費 3.7億円増
- ・広告宣伝費 1.2億円増
- ・運賃、保管料 0.8億円増

〔◆合計〕 21.4億円増

〔◆売上増〕 13.7億円増



☆ 前中間期比 **営業利益** 7億円減

貸借対照表の主な増減科目(連結)

〔資産の部〕

単位:億円

科 目	07/3月期 中間期末	06/3月期 期 末	増 減
流 動 資 産	451	445	+5
固 定 資 産	472	482	△10
有形固定資産	273	275	△2
無形固定資産	10	9	+1
投資その他	188	197	△9
■ 合 計	923	927	△4

〔流動資産〕

受取手形・売掛金
+17億円
(9月末日、
金融機関休日)

棚卸資産
△11億円

貸借対照表の主な増減科目(連結)

〔負債・純資産の部〕

単位:億円

科 目	07/3月期 中間期末	06/3月期 期 末	増 減
流 動 負 債	266	267	△0
固 定 負 債	61	70	△8
■ 負債合計	328	338	△9
■ 純資産合計	594	589	+5
■ 合 計	923	927	△4

〔流動負債〕

支払手形・買掛金
+16億円
(9月末日、
金融機関休日)

短期借入金 △9億円
未払費用・未払金
△9億円

〔固定負債〕

長期借入金 △4億円
繰延税金負債
△3億円

※ 純資産合計に、少数株主持分を含む

キャッシュフローの状況(連結)

(百万円)

	06 / 3月期(年間)	07 / 3月期 中間
営業活動によるキャッシュフロー	1,767	4,493
投資活動によるキャッシュフロー	▲5,575	▲2,720
財務活動によるキャッシュフロー	1,049	▲1,551
現金及び現金同等物の期末残高	10,312	10,552

[07/3月期 中間 キャッシュフローの増減要因]

営業活動

・税金等調整前中間純利益	2,281
・減価償却費	1,901
・たな卸資産の減少額	1,073
・法人税等の支払額	▲675

投資活動

・有形固定資産の取得	▲2,879
・投資有価証券の売却	385

財務活動

・短期借入金の純減	▲787
・長期借入金の返済	▲486
・配当金の支払額	▲389

◆ マクロ環境

- ① デフレ状況からの脱却が鮮明の中で

◆ 食品業界

- ② 外食産業中心として一部に業績回復の兆しが見えるも
- ③ 長引く低価格化
- ④ 少子高齢化の進行による国内消費量の減少
- ⑤ 原油・素材価格の高騰
- ⑥ 夏場の天候不順



依然として厳しい状況が続く

07/3月期 中間決算の総括<2>

◆ 当社グループ

⑦ 得意な領域での新商品開発

- マヨネーズタイプ調味料「ノンオイル」
- ノンオイルドレッシング「3種の柑橘」「サウザンアイランド」

⑧ 世界規模での市場の変化と伸長への対応 ⇒ 改良剤分野

- マレーシア、中国天津の子会社 …… 生産設備増設に着手
- 業務提携先クリスチャンハンセン社(デンマーク)との取組み
⇒ 「エルダーベリー色素」の国内市場への上市

⑨ 販売～「選択」と「集中」の更なる明確化

⑩ 生産～ローコストプロダクションの継続的取組み



⑪ 大型設備投資による減価償却費の増加

- 前連結会計年度 …… 千葉工場(粉体設備)、草加工場(新調味料設備)

⑫ 原油価格の高騰

- 原材料費およびエネルギー費の上昇

⑬ 新商品の上市に伴う拡販活動

- 販売促進費の増加
- マヨネーズタイプ調味料「ノンオイル」が計画未達
(前期は、ノンオイルドレッシング「セテクティ胡麻」がヒット)



(対 前中間期比)増収・減益の結果へ



2007 / 3月期 通期予想

07/3月期 通期予想(連結)

ーセグメント別売上高ー

単位:億円

セグメント	部門	07/3月期 予 想	07/3月期 計 画	計画差	計画比
食品事業		684	693	△9	98.7%
	家庭用食品	191	205	△13	93.4%
	業務用食品	118	116	+1	101.6%
	加工食品用原料	199	198	+1	100.9%
	食品用改良剤	174	174	0	100.6%
化成品事業		61	64	△2	96.3%
ビタミン・その他事業		59	62	△3	94.4%
合 計		805	820	△15	98.2%

〔食 品 事 業〕

〔家庭用食品〕 13.4億円減

- ・ノンオイル $\Delta 4.1$ 億円
- ・ドレッシング類 $\Delta 8.0$ 億円
- ・素材力(無添加だし) $+ 2.0$ 億円
- ・生食めかぶ $\Delta 4.3$ 億円

対計画比 9億円減

〔業務用食品〕 1.9億円増
・生海藻類 $+ 1.0$ 億円

〔加工食品用原料〕 1.6億円増

〔食品用改良剤〕 0.7億円増

〔化成品事業〕

対計画比 2億円減

〔ビタミン・その他事業〕

対計画比 3億円減

07/3月期 損益の通期予想（連結）

単位：億円

	07/3月期 予 想	07/3月期 計 画	増 減
売 上 高	805	820	△15
粗 利 益	253	265	△12
販 売 管 理 費	215	218	△3
営 業 利 益	37	48	△10
経 常 利 益	37	48	△10
純 利 益	26	30	△4

07/3月期 セグメント別 営業利益 通期予想 (連結)

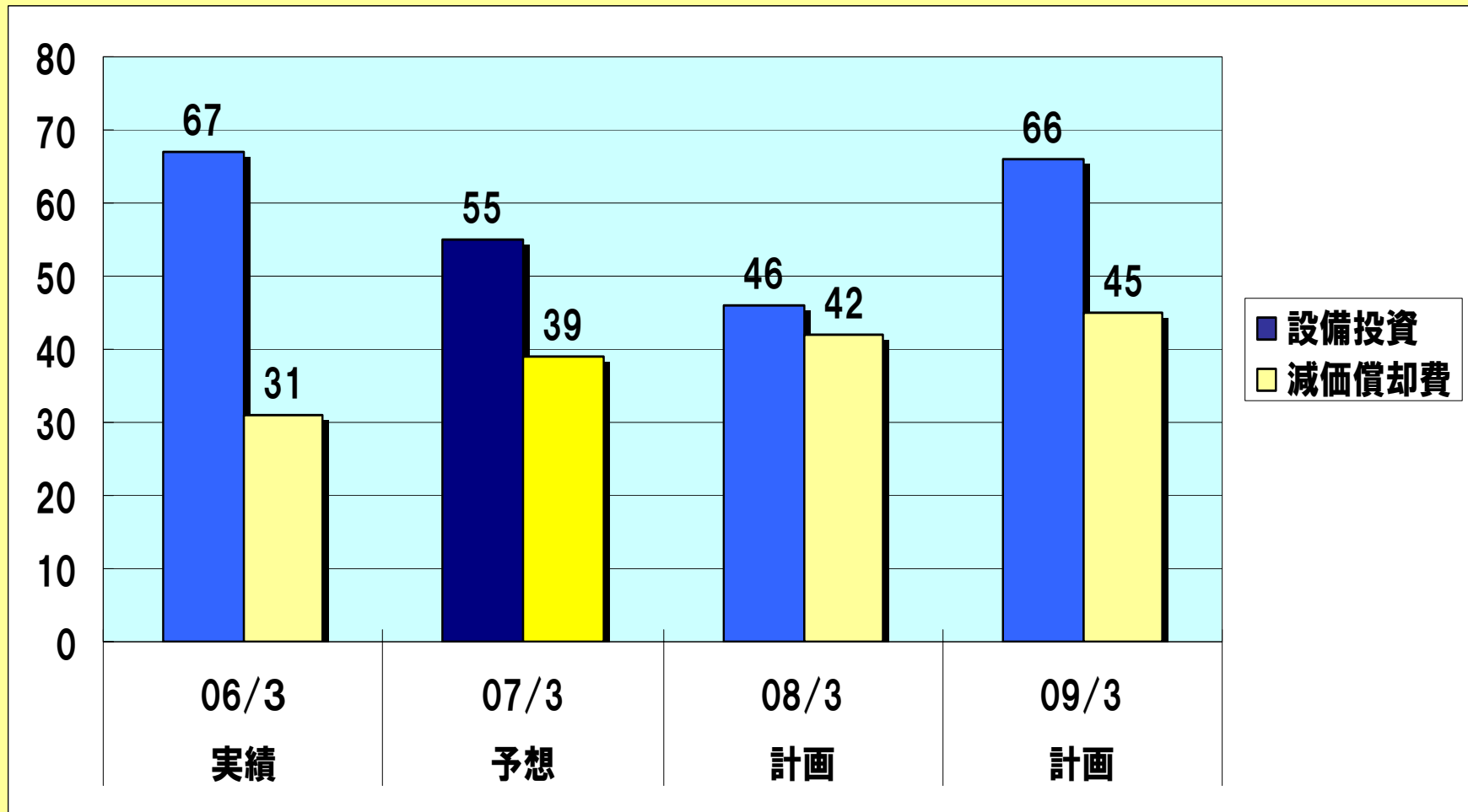
単位:億円

セグメント	部門	06/3月期 実績		07/3月期 中間期実績		07/3月期 通期予想	
		売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
食品事業		671	29.9	348	15.0	684	26.7
	家庭用食品	193		103		191	
	業務用食品	114		59		118	
	加工食品用原料	194		97		199	
	食品用改良剤	169		87		174	
化成品事業		59	3.7	30	2.1	61	4.5
ビタミン・その他事業		59	7.6	30	2.9	59	6.3
合 計		790	41.3	409	20.0	805	37.5

設備投資<1>

投資額と減価償却費の推移

単位:億円



※予想および計画には、「理研食品(大連)」分も含む。

◆ 世界規模での市場動向に対応

● 「リケビタ・マレーシア」

食品および化成品改良剤の生産設備増強へ

- 投資総額…約70百万円リンギット(約22億円)
- 生産能力…11,000t/年 増強
- ⇒完成後 総生産能力41,000t/年へ
- 完工予定…2008年 春

● 「天津理研維他食品」

食品および化成品改良剤の生産設備増強へ

- 投資総額…約3,270万円元(約466百万円)
- 生産能力…4,600t/年 増強
- ⇒完成後 改良剤総生産能力7,600t/年へ
- 完工予定…2007年5月

● 「理研食品(大連)有限公司」

第一期工場建設 ⇒ 「わかめ加工品」の安定供給へ

- 投資総額…約6,450万円元(約928百万円)
- 2007年4月より本格稼動(予定)

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。



お問い合わせ先

経営企画部
毛塚、相原まで
TEL 5275-5835